

杜郎閑客今焉是謝守風

流嘉慶傳獨把秋英綠底書

若若蒸情味向詩偏

旭林公峴山之作

皎書一天月園之徑千里震衣澤力

水所占已過二安羅西峴山課云

書心 卷二 8号

福岡大学學術文化部会書道部 書心会



目次

巻頭詩	1
紹介	1
序	2
――特別寄稿――	
中国近代の苦悩	3
当時の夏季合宿エピソードに加え	
書道部部长 小西 高弘	
学生時代の書道感について	5
書心会会長 柴田 一夫	
学生とは	5
学術文化部会幹事長 安田 進	
――年間行事――	
クリスマスパーティー	8
二年 中村 修二	
追いコン	9
二年 桜井 茂之	
夢を語ろうよ	10
四年 前田 秀樹	
春季合宿	11
二年 鶴原 哲英	
クラブ勧誘週間について	12
一年 大久保 美智代	
ダブルショック	13
一年 重富 佳代	
楽しい楽しい楽しいコンパ	14
一年 佐々木 隆行	
新歓コンパ	15
一年 仲尾 美奈	
学術文化発表週間	16
二年 真崎 志津子	
学術文化発表週間	16
一年 内野 久修	
夏季合宿	17
一年 田原 陽子	
夏季合宿	18
二年 木村 浩太	
七隈祭	19
三年 岩井 弘一	
まとめ	20

――福岡学生書道連盟について――

連盟と私 二年 林 英樹 21

連盟について 二年 松山 浩嗣 22

福岡学生書道連盟 二年 山川 ゆり 23

――OB寄稿――

遠藤 信広 24

荒尾 記史朗 24

華中酔行 26

――書道研究――

一年 菅 純子 一年 奥野 亜弥 一年 新開 祥子 三年 中尾 明子 三年

――特集――

赤木先生インタビュ 28

――百字PR―― (青年の主張)

――OB特集――

山本 登先輩インタビュ 42

――新人紹介――

ザ・ルーキーオブザイヤ 48

編集後記 50

――付――

福岡大学学術文化部会書道部規約

書道部書心会規約

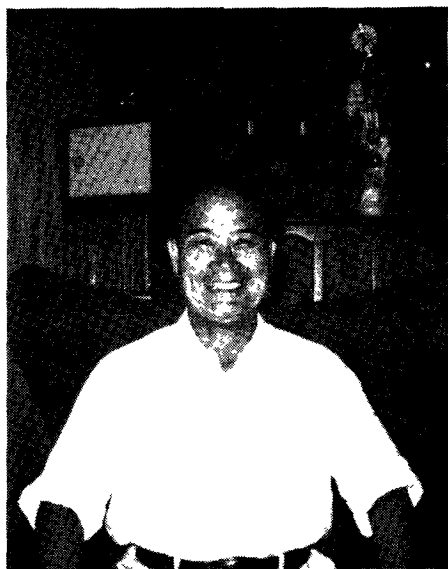
昭和六十二年度部員名簿

書心会名簿

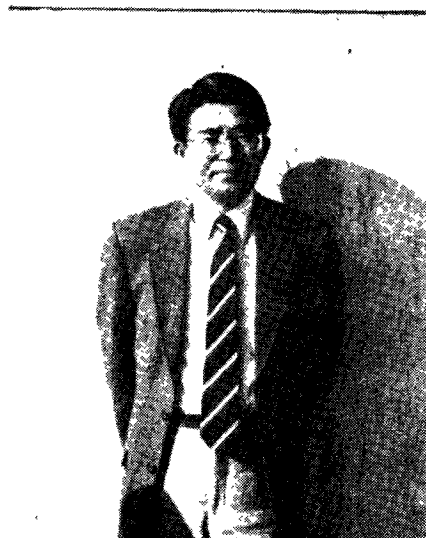
昭和六十二年度書道部役員名簿

書心会役員名簿

福岡大学学術文化部会書道部



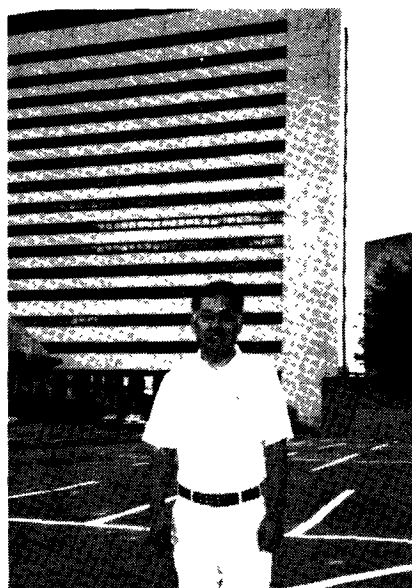
講師 赤木 石掃



部長 小西 高弘



幹事 北本 正範



会長 柴田 一夫

序

福岡大学学術文化部会書道部

第二十七代 幹事 北本 正範

この度、福岡大学学術文化部会書道部の機関誌であります「書心・荒鷺」を
発刊できますことは、私共書道部にとりまして誠に慶びに耐えませぬ。
私共福岡大学書道部は、昭和三十四年六月に、同好会として発足し現在では、
部となり今年で二十七年目を迎え、OBの諸先輩方と私共現役の接点の一つで
あります、この「書心・荒鷺」(初心・表わし)において、今一度書を考え書
道部を考えることに致しました。

そして、大学におけるサークル活動として、様々な歴史を知り伝統を知る学
生らしく活気あふれる書道部を目指し、一步一步堅実に努力精進して行きたい
と思います。

最後になりましたが、「書心・荒鷺」二十八号発刊に際しまして多人なる御
尽力を頂きました諸先輩方、関係者各位に厚く御礼申し上げます。

特別寄稿

中国近代の苦悩

書道部部长 小西 高弘

私は昨年の雑誌で、諸君に輪読会をすすめる一文をしたためたが、反応はなかつた。

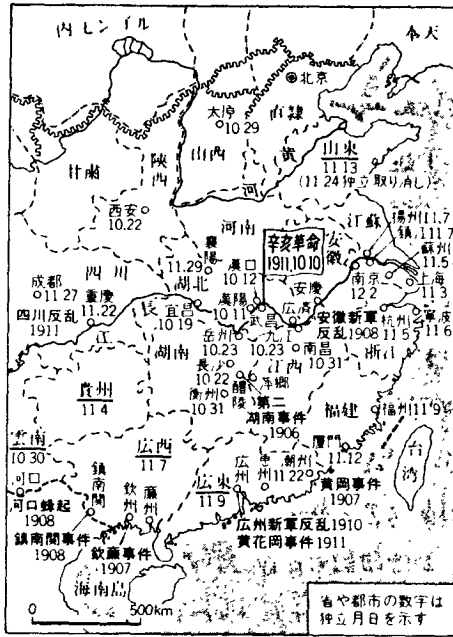
書道部員が「書」を書くために集うだけのクラブであるのなら、それでいいだろう。だが、それで本当に書技が向上するであろうか。実践は大切である。しかし、理論なき実践では真の向上を期待することができであろうか。例えば、諸君が中国の書を題材として書く場合その題材の時代性、著作個人の作品への動機などを学ぶ必要がある。総じて、近代革命が成立する以前の中国人は専政王朝の政治的風土に生きた人々である。前近代社会の東アジアにおいては、中華世界として君臨していた中国、近代ヨーロッパのアジア進出とともにあえなく崩壊した。アヘン戦争は中華帝国崩壊の象徴的事件であ

つた。中国の知識人は内・外の危機に直面して国家の独立を目指す運動を展開した。太平天国の乱は、清朝を克服せんとした最初の象徴的事件であつたが、清朝権力とヨーロッパ連合軍によつて弾圧されてしまつた。ヨーロッパの軍事技術（科学・技術）の威力を目前に見た専政権力内部の進歩的官僚はヨーロッパ文明の導入にふみきつた。いわゆる洋務運動である。しかし、体制（清朝）を客混した、上からの近代化は、富国強兵策、次に殖産工業へ着手されつつ、新興階級の成長をみたが、明治維新後、近代化を推進してきた日本との戦争にあい、清朝は敗北した。中国の知識人は立憲君主制への改革を求め、運動と共和制国家への改革を目指す運動の対立となつた。康有為の変法による改革は失敗し、残るは革命のみとなり、一九一一年、革命党は武昌に兵変をおこし、やがて南京を占領し、孫文を臨時大統領に迎えて臨時政府を樹立しました。しかし、これも清朝によつて推挙された遠世凱（外国の支援）によつて革命軍は鎮静された。革命軍は武力・経済力の点で洋務官僚軍人に及ばず、妥協せざるをえず、清朝の退位とともに、孫文は

臨時大統領の地位を退き、遠世凱がこれに代わった。民国革命（辛がい革命）自体は不徹底であったが、秦漢以来二千年にわたる中華帝国にとどめをさした意義は大きい。



孫文



辛亥革命要図

よく世間で言われています。今の学生たちは、生きいくていく上での目標が明確に見えていないのです。だから様々な事に対する気力・関心・責任感というものが薄れて、無気力・無関心・無責任と俗に言う三無主義の学生と呼ばれてきているのです。

しかし、人間というものは、何に對してでも、興味を持つその物事に対して、突き進んで行き、自分の納得のいくまでやりとおす性質を持っています。しかし、それが総ての者に当てはまるとは思いませんが。

今の学生に、何か興味の持っているものを学校から授ける事と、学生自身から、見つけたしていくことが大切です。学校からは、講義を通しての、社会、宗教、文化、文学等様々な物事を考える機会を与えていると思いますが、学生は、それを聞くだけでなく、それを自分なりの観点から色々な方向に研究していき、学生同士での意見の交換をしながら自分の意見の確立をしなければなりません。

このように、学生の立場を確立させ、自己の主張を受け入れるのが、教育の最高機関である大学です。大学で

は学業がまず一番大切ですが、それだけではありません。社会に対して、知識、教育、人間関係、一般常識等の総てのを学びとる場でもあり、先程も述べましたように、最終的には個人、つまり学生一人一人が、自己の確立を持っていく場です。その手段はいくらでもありますし、やれば、やるだけ自己に還元されていくものです。様々な人が入る中で、活動していく事は、たいへん難しい事ですが、その中で自分の主義主張を伸び伸びと交換できる事が一番自己の確立の為になってくると考えます。

目標とは、限らないものであれば、それだけ一生懸命に努力して、それを達成させようとする。その過程が、一番その人の輝いている時だと思えます。

最後に、書道部の今後の御発展と部員一同の御活躍を期待して、筆を置きます。



当時の夏季合宿のエピソードに加え

学生時代の書道感について

書心会会長 柴田 一夫

書心、荒鷲の発行大慶に存じます。発行に際し携わった方の努力、また広告に御協力いただいたスポンサーの方々に厚く御礼申し上げます。又、書心会の皆様方には各方面で御活躍の由、御喜び申し上げます。

今回の発行に際し書道部から（当時の夏季合宿のエピソードに加え、学生時代の書道感についてという）表題を頂きましたが、まず書道部として夏季合宿は起こっていません。ただし連盟の初の夏季合宿を唐津のお寺でおこなった事を覚えていますが、第一回連盟合宿は無論福大が中心となり西南、その他（女性も混じっていました）が、興味が無かったので覚えていません）が参加して総勢二十名程で行われました。私は当時四年次であった為、みんなから遅れて筑肥線にのってわずか一泊しスイカ割り、浜辺の散歩等のみが印象に残っており、残念な

がら今考えると初めから練習の為に参加したのではなかったような気がします。しかしながら（故）原君、緒隅君野田君、安河内君等が連盟のリダーシップをとり「ここに福大あり」と書技に腕を振るい他大学に強烈なイメージをうえつけた第一回であったと思われまます。お寺の縁に腰掛けて休憩している写真を時々見ながら当時をしのんで今日このごろです。

私の在学中の思い出としては、過去にも述べてきたように、書技の向上は二の次ぎでいわゆる“アメリカ大陸の開拓者精神”と似たフロンティアで会員（当時は同好会）の確保、会員相互の融和、会員の掌握、予算の確保増額、そして当面の目標である部への昇格に日夜奔走していました。その為、書道感というものは、全員が書道を愛しているというのは当然で、暇さえあれば、書道談議？をかわしていたもので有ります。しかしながら、練習よりも書道部の形づくりが先決で、全員が一つの目的に団結していました。

ようするに書道部というものは人生感のごく一部であり、豊かな人間形成が必要であり、それに向かって日夜努力をすべきであると思われ、私自身も人間形成に一步

でも、いや、半歩でも進めようと思っている毎日です。

今後とも、書道部・書心会共々手を携えて頑張ってくださいではありませんか！皆様方の益々の御指導、御鞭達を宜しく願います。

学生とは

幹事長 安田 進

ここ数年来で、学生の気質が特に変わってきているとよく世間で言われています。今の学生たちは、生きていく上での目標が明確に見えていないのです。だから、様々な事に対する気力・関心・責任感というものが薄れて無気力・無関心・無責任と俗にいう三無主義の学生と呼ばれてきているのです。しかし、人間というものは、何に対してでも、興味をもつとその物事に対して突き進んでいき、自分の納得のいくまでやりとおす性質を持って

います。しかし、それが総ての者に当てはまるとは、思いませんが。今の学生に、何か興味の持っているものを学校から授ける事と、学校自身から、みつけだして行く事が大切です。学校からは、講義を通しての社会・宗教・文化・文学等様々な物事を考える機会を与えていると思いますが、学生は、それを聞くだけでなく、それを自分なりの観点から色々な方向に研究していきけるし、学生同士での意見の交換をしながら、自分の意見の確立をしていかねばなりません。このように、学生の立場を確立させ、自己の主張を受け入れるのが、教育の最高機関である大学です。大学では、学業がまず一番大切ですがそれだけではありません。社会に対して、知識、教育、人間関係、一般常識等のすべてを学びとる場でもあり、先程も述べましたように最終的には、個人つまり学生一人一人が自己の確立をおこなっていく場です。その手段はいくらでも有りますし、やれば、やるだけ自己に還元されていくものです。様々な人がいるなかで、活動していく事は、大変難しい事ですが、その中で他人と自分の主義主張を伸び伸びと交換できる事が一番自己の確立の為

になってくると考えます。目標とは、限りないものであれば、それだけ一生懸命に努力して、それを達成させようとする。その過程が、一番その人の輝いている時だと思います。

最後に、書道部の今後の御発展と部員一同の御活躍を期待して、筆を置きます。



年 間 行 事

クリスマスパーティー

商学部二年 中村 修二

日本の一年は正月に始まり大晦日におわる。しかし、我が書道部に於いてはこのクリスマスパーティーをもって暦の上での一年を締めくくるのである。締めくくるといっても、筆や硯などは一切もたず、その代わりちょっとした小物、つまりプレゼント交換を行う場合は各自、持参するのです。たまに自分も持っていったプレゼントが交換し終わった時、再び自分の手中にあったというまぬけな人も出てくるので、プレゼント選びの際はもしもの場合を考えて自分の好みものを選びましょう。と、昨

年そのような憂き目にあった自分は思います。クリスマスパーティーでは他に歌ったり踊ったり、あるいは食べたり飲んだりして、本来一人で寂しく過ごすはずのクリスマス之夜を同じ境遇にある大多数の部員と過ごすことになってうつぶんを晴らすという意味もあります。が実際は一年生にとっては入部してからこれまでやってきたことを喜び合い、二年生にとっては役員の立場での行事であり、三年生にはこれまでの役員お疲れ様とねぎらい四年生には何も考えずゆっくりしてもらおうということが一つの見方である。

とにかくこの夜だけは一切書道部のこと、その他いろんな悩みも忘れ、来るべき年へ向けて新たな決意をいたすのであります。
(終り)



Y先輩は泥酔状態だった、そして我々は権兵衛にその足をほこんでいた。

「桜井！貴様！おいっ！」とY先輩。

「はい！Yさん！」大声で私は返事をする。

「俺はなあ、俺はこのクラブに入って良かったぞ！」と涙声で言われる。

ついさっきの事だ、全員でどなるように歌った校歌、

T先輩は、大声で、H先輩は伏目がちに、O先輩はつぶれているU先輩を抱きかかえて左右に調子をとっているTさんは、一寸はずにかまえて……。

その前は卒業される先輩方一人一人に「お疲れ様でした」とトックリを差し出していた。「おう！」と受けてくれニツと笑っておられたTさん、U先輩は、もう意識がないようだった、O先輩は逆に私に杯を渡して「お疲

れさん」とトックリを出され（当然しこたまいただいた）H先輩は「俺に飲ますんか？」といわれた（当然私がいいただいた）、T先輩の前になると、「オウ、桜井か」と言われ、いきなり酒を浴びせられてしまった。「お前は分かつたらん」と先輩、私は何も言えずに数杯いただいた。その時の私には何が分かつたらんのか理解に苦しんだ。そして私はコンパの開始後しばらくしての卒業生の言葉を思い出していた。それは、司会の声で乱れていた座が静められて始まった。

「それではここで卒業される先輩方から一言づついただきますと思います。」先輩方は一人一人かみしめる様に我々一回生は知らない過去のこと、又よく知っている近年の出来事まで「良き思い出」と語られた。そして口々に「このクラブに入って、そして四年間続けて良かった」と。

コンパの始まる前、ざわつく会場の中で、我々一回生は、よくわかってなかった。何故、四回せいの先輩がいつもより上気して見えるのが、いや、それ以上にこの「追コン」というものの本当の意味をだが。

そして、司会の声でコンパが始まった。

Y先輩は泥酔状態だった、そして我々は権兵衛に足をはこんでいた。

「桜井！ 買様！ おいっ！」とY先輩。

「はい！ Yさん」大声で私は返事をする。

「俺はなあ、俺はこのクラブにはいってよかったぞ」と涙声でいわれる。

「はい！」と私。

先輩が少しよろめいたのを肩を貸してしばらく歩いてきた。

「すまんなあー」とふいに先輩が言われた。

「たまにはいいじゃないですか」と私

その時何が分かつたらんのが少し理解出来た様な気がした。



夢を語ろうよ！

商学部四年 前田 秀樹

去る四月七日より四月十日まで大分県の湯布院青年の家で春季合宿が行われた。この合宿は、新一年生を迎えるにあたって、部員が寝食を共にすることにより、より一層の連携を図り、これからの書道部の方向性を確かにするものである。

僕は今回、ゼミ旅行があり、直接現地に向かった。少し早めに着き、待っているとバスが着く。春休みの終りと云う事もあり、ひさしぶりに見るみんなの顔は、新鮮なものだった。オリエンテーションに続き、早速研修が始る。研修の内容は、各班別の討論、各学年の討論、全体の討論だった。このように、色々な形式で話すことにより、多くの角度から自分を、またクラブを見直し、今後につなげていくのである。そしてもう一つの楽しみはレクリエーションである。普段あまり身体を動かさない

部員達は、きついながらも楽しそうにバレー、ソフトを
楽しんでた。また、青年の家ならでわの他団体との交
流も思い出の一貢を飾った。

討論……人に自分の考えを伝え、それ以上に人の考え
をつかむ。難しい事だが、とても大切な事だと思う。合
宿などという決められた話し合いだけでなく、いつも話
している一言一言が討論だと思ふ。合宿は、キツカケを
つかむ場と考えて、一日一日を大切に過ごしたらいん
じゃないかな。そしてたまには、現実を超えて、書道部
の夢、自分の夢を語ろうよ。



「春季合宿」

人文学部 二年 鶴原 哲英

春休みにある、わが部の年間行事である春季合宿では
夏季合宿とは違ったものでした。春季合宿は討論合宿で
夏季合宿のように練習中心ではないので、「口」がつい
ていけばなんとかなるとか思い気分的には楽でした。

春季合宿を行なった湯布院青年の家もこじんまりした、
静かな自然の中にあるとても良いところでした。合宿中
いろんなことがありました。夏季合宿は練習に始まり練
習に終わるというそういつた感がありました。春季合
宿は、青年の家というのもありますが、討論、レクレ
ーション、スポーツなど毎日充実感が味わえました。

討論では、班別討論、学年別討論、全体討論があり、
どの討論も、それぞれ勉強になり、参考にするとところが
多かったですが特に学年別討論では、討論というより言
いたい放題といった感じで脱線しまくってしまいました
がそれなりに、良い面も見えました。

スポーツは、バレーとソフトボールをしたが特にバレーの新四年生対新二年生の試合は真に圧巻でした。

春季合宿全体を通して、この行事は人の意見を聞いたり、自分の意見を相手に理解させるのに最も良いものだと思います。自分は、この合宿に参加して、書道部の部員として他の部員を少しながらも理解したのではないかと思います。何かひとまわり成長した気分になりました。これも、部に入ってなければ味わえないもので、この合宿を通して改めて部の良さが分かりました。なかなかいい合宿でした。



クラブ勧誘週間について

理学部一年 大久保 美智代

私にとって、サークルとは、どこかの大学においても、幅広い人間関係の形勢ばかりでなく、専門分野から唯一解放される為に全く性格が異なったサークルでなければならぬと思っていました。

また、私自身、福大へ行くなら書道部に入ろうと頭の片隅に置いていたので、三日目の午後、「あのー、書道部ですけど、話を聞いて下さいませんか？」との、先輩の言葉に、待ってましたといわんばかりに私は、返事をしてしまいました。おそらくビックリされたと思います。なぜなら十分程前に、一緒にいた友人と話を聞きに行く時、誰も見当たらなく、存在感が薄いサークルなのかと、真剣にとまどってしまい、「もう一度だけ通ってみて勧誘されなかったら無線部に入るかもしれない」と宣言した程の賭けでもあったからです。それまで、声

かける前に後ろから腕をつかまえられたり、通せんぼされたり、一分でいいからと、授業開始一分前に強引に引っぱられ、十五分遅刻して、先生に白い目で見られたりはつきり言って不愉快でした。

今、書道部へ入って約半年程たちましたが、書技面ではもちろんのこと、一人一人ユニークな先輩や同輩に巡り会い、また、大きな白い紙に、思い切り筆を運べるあの爽快さが、私には最高の欲求不満の解消にもなっています。



ダブルショック

法学部一年 重富 佳代

五月十七日は、楽しみでもあり、不安でもあった新歓コンバの日でした。

当日は、昨日の雨で昼間はボーリング大会になりました。実は、私は、ゴールデンウィークで帰省した時、ボーリングの練習をしたんです、私のスコアは、年齢の倍くらいでした。もちろんダントツに悪くてショックでした。でも福大にいる限り、ボーリングから逃げられません。この次ぎは、もう少しまともな数が残せるように技を磨いてきます。

しかしながら、ボーリングのショックは、夜のショックに比べると何でもないことでした。

前々から、飲まされるとかつぶされるとかいう噂を聞いていましたが、その通りだったのでビックリしました。一年の男の子は、ほとんどの人がつぶされてしまっ

一人は死んでしまうのではないかと思うほどぐったりとなっていて、かわいそうでした。

イッキイッキとお酒を水のように飲んでそしてもどしてしまふんですからもったいないです。だから、ジュースかなにかにすればいいのに……。

最初は、あんなに静かにすき焼きを食べていたのに、いつからあんな酒乱状態になったのだろうか？最初と終りのあまりの違いに、私は、ショックでした。

最後になりますが、私は、やっぱりあまりお酒が飲めませんでした。実は、お酒も飲む練習したんですけど、全くダメでした。しかし、イッキの時に間をあけたりしてしまったので、お酒ももう少し飲めるようになって、いつかは、「さるの重畜」とよばれるようになります。

楽しい楽しい楽しいコンパ

工学部一年 佐々木 隆行

新人生歓迎コンパは楽しく、苦しかったような気がし

ます。はっきり言ってあまり覚えていません。和風の大きな間に書道部現役、OB、総勢五・六十人ぐらいいたと思います。始めはのどかな雰囲気ですき焼きを食べ、酒が入り出すにつれてだんだんとみんな陽気になり、笑い出し、動き回り、騒ぎだし、先輩ともり上がり、楽しい時が過ぎていった後、女子は、相変わらず楽しそうに話し、一年男子は、一人一人と沈没して行きました。意識がだんだんとなくなっていく、いつのまにかムチャクチャになっていて、それは汚く、また、壮絶だったのでわないかと思えます。(はっきりいって覚えてません)

それにもめげず、やさしく解放してくれた先輩方には感謝のしようがありません。約二時間で終わったそうですが、そのころは、大広間のところどころに人が倒れていてとても、滑稽だったそうです。僕は、その日、先輩のアルバイトに泊り、ムチャクチャ先輩に、迷惑をかけ、次の日、頬はこけ、二日酔いで、胃が食べ物を受け付けずその時、もう二度と酒は飲まないと、神様に誓ったような気がします。

本当に楽しい楽しい楽しいコンパでした。

新歓コンパ

商学部一年 仲尾 美奈

五月十七日に行なわれた新歓コンパは、晴れたら春日公園でみんなでリクリエーションの予定でした。しかしその日の朝は雨が降っていたために、午後から七隈ファミリーボウルで、ボーリング大会に変更になりました。ボーリング大会は、調子が悪かったけど、このときに部の人とけっこうしゃべれるようになったと思います。実は私は、物覚えが悪いうえに、完全にひとみしりして部の人もほとんど知りませんでした。今となっては、私のことを「おとなしい」と言ってくれる人は一人もないでしょうが、このときまではほんとうにおとなしい子だったと思います。

「高砂」でのコンパはあまり記憶にありませんが、このときとってもおなかがすいていたのですきやきが、と



てもおいしかったです。このすきやきを、私はこがしてしまっただけでなくなってしまい、みんなに責められました。でも、まずいって言いながらたべてくれました。この日の帰りは、初めて経験したコンパのせいでしょうか、なぜかどっと疲れて、バスの中でうとうとと眠っていた私でした。

学術文化発表週間

人文学部二年 真崎 志津子

そろそろ梅雨に入りそうな蒸し暑い日が続く六月中頃学術文化発表週間が行われる。我が書道部も、六月二十二日から二十七日まで、有朋会館三階のラウンジにて、日頃の練習成果を発表した。

学術文化発表週間のための強化練習では、毎日毎日、作品を仕上げに励んだ。とりあえず作品ができた者は、さらにより作品を仕上げるために、作品がなかなか出来ない者は、とにかく納得のいく作品を仕上げるために、必死にがんばった。提出した作品が認められた時、誰しもが、安堵と共に満足感を多かれ少なかれ、経験したところだろう。

そして、表装週間。自分の作品ならまだしも、ひとの作品を手掛ける時、緊張のあまり手が振るえたりもした。こうして、部員の団結と、苦勞によって仕上げられた

作品が、会場に飾られた時は、みんなの顔が輝いていた。とくに一年生にとって、書道部に入って初めての、一つのことを部員一眼となってやり遂げたという満足は、忘れられないものになるだろう。

学術文化発表週間

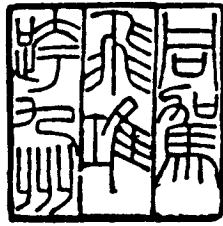
工学部一年 内野 久修

六月二十二日から、二十六日まで、学術文化発表週間がおこなわれた。この日のために、書道部の先輩方そして、自分達一回生は、納得のいく作品を作るために、努力した。特に、自分達一回生は、慣れない作品作りのため、最後の最後まで、四苦八苦してしまった。

さて、発表週間の展示は、有朋会館三階でおこなわれたが、初日から、なかなかの観客数（どのくらいの数かはわからないが……）であった。この発表週間の間、福

書連に所属している他大学の先輩が来られて、展示作品

について、批評されていた。その中の数人の先輩に、自分の作品について、目の前で、批評してもらい、他人の目から見ての、自分の作品の欠点、長所を教えていただき、大変よい勉強をさせてもらった。そして、発表週間の五日目ぐらいに、夏季合宿の班にわかれての、批評会が行われ、改めて人の作品についての、批評の難しさを痛感させられた。又、この時は、先輩の作品も批評させてもらったのだが、自分の一年後、二年後、三年後に、こんなに上手になれるのかどうかと不安にもなった。とにかく、何もかもが一回生にとってはじめてであった発表週間ではあったが、この時の気持ちを大事にしてこれからの活動に生かしていきたいと思う。



夏季合宿

商学部一年 田原 陽子

「きつよいよー」とおどされて、おびえて行った宮地嶽神社開運殿での合宿は、確かにきつかったです。個人的に思い出すまま、ちょっと色々書いてみたいと思います。何と言っても一日八時間の練習。とちゅうで疲れて、ポロロとしていたら、「もうちょっとだから頑張ろ。」と先輩に励まされ、頑張らなきゃと思いつたりしました。批評会の時、自分の作品（と呼べない様なモノ）をならべ、批評していただく時のあの気持ち。休憩時間の麦茶のおいしかったこと。そして食事の時間。私のいた班には一年生の男の子が一人しかいなかったもので、二年の先輩にまでとばっちり、いえ四年の先輩の愛が贈られました。また、班別反省でその日の自分をふりかえって……. 思っている事を言葉にまとめるのに苦労しました。そして、茶話会。他班の出し物を見ている時はずっとも楽しかったけど、自分達の番になり……。終わった後「は

ずした。この茶話会は一班には(いけない)思い出のある海で行われました。次の日……最終日。あんなにきつくて早く終わって欲しい、来年は参加するものかと思ってたのに、帰る時にはそんな気持ちも消えてました。いろんな事を教わった合宿でした。有難うございました……。そして九月。合宿の荷ほどきの時誰が頂いてきたのか思い出品、「大阪屋」と書かれたヤカンが……。



夏季合宿

商学部二年 木村 浩太

今年は、私達二回生は後輩を持った立場として、福岡大学書道部の夏季合宿に参加したわけですが、後輩を指導してなおかつ合宿を盛り上げてゆくことの難しさをしみじみと感じたわけですが、その中で気付いたことは、集団の中で様々な性格、あるいは、ポリシー、そしてたまには、イデオロギーを持った人々に、五日の間一つ釜の飯をたべていただくことは、なかなか大変な事だとおもいました。来年は、私達が主導するであろう合宿、そしてまたクラブの運営にあたって、この経験がこれからの書道部の充実の為にいい勉強材料として考えていき、そしてよりよい形で、部に反映できるように努力していきたいと思えます。二年間、クラブに在籍して私は、部員の様々な表情をみて来ました。でもその中で私をもっとも好きなのは、みんなの笑顔です。私達は、

たとえ、それが瞬時のものであっても、彼氏、彼女の満面の笑顔をいつでも拝めるような場を作って行きたいと思っと思っています。

最後に世の鳥観図法的、氣象学の權威の諸氏のみな様へ、時には目録の中身じゃないと、潮の流れはつかみづらいついということも、もし、あなたが真面目であればのことですけど……。

七隈祭

経済学部 三年 岩井 弘一

十月三十日から十一月三日まで、福岡大学の学祭である七隈祭が盛大に行われた。我が書道部もバザー及び展示部門に於いて参加しました。また、一年生と四年生はこの七隈祭のオープニングを飾る市中パレードにも参加しました。色々な装いをした部員を見ていると本当に書道部の部員であるのかと、つい疑ってしまいました。

今年の展示会場は有朋会館の二階ラウンジで行われました。実行委員と役員が中心となり部員が一団となって

準備した訳であるが、一番の問題点はやはり暗幕の張り方であった。展示場が狭い上に暗幕を直接壁に張れない為、大変苦労した。展示会は、色々な方々にご来場いただき又ご批評いただき大変有難うございました。

バザーでは、一年生が中心となり一ヶ月前から準備した今年のメニューは、ぜんざいとだんごでした。ぜんざいの甘さ加減がなかなか難しかったようです。バザー券を買って頂いたOBの先輩のみなさんご協力有難うございました。このバザー期間中は、天気が悪く夜、強風の為翌日朝、会場に行ってみるとテントが倒れていて、急いでテントを立て直すといったハプニングもありました。部員が協力したかにもあり売り上げの方も満足のいくものでした。

現在の七隈祭は大学の学問、研究の発表の場といったものが薄れてきているようです。今後は、我が部も他の団体に負けないよう、この七隈祭を通して書道部をアピールして行きたいと思えます。

まとめ

我々第二十七代役員は、昨年十二月よりその任につき基本方針に基づき、卒業生追出しコンパ、春季合宿、新入生歓迎会、夏季合宿、七隈祭等をおこなって来ましたが、各行事を通じて反省すべき課題が多々見つかりました。

まず第一に、クラブの部員が自己中心的となり、本来のサークル活動の目的を失ってきていることです。サークル活動に熱中する部員が少なくなっているのか、サークル（書道部）にそれだけの魅力がなくなっているのか、今後、役員又部員が真剣に考えていくべきである。

第二に、各行事は役員だけの行事ではなく、書道部部員、ひいては書道部の発展の為にあるという事の自覚が薄らいできている事である。

第三に書技面についてであるが、最近書技の低下という事が言われているが、赤木先生を中心として、もう一

度、書について考え直す必要がある。

我が書道部は、書道を通じての人間形成・親睦を深めていくサークルである。その為にも、相互批評、相互理解をしながら、先輩後輩のつながり、同輩同士の横のつながりを、より密なものとし、その中で目的にむけて積極的に活動すべきであろう。加えて、我々書道部の一員であり、これらの場を大いに利用し、人間形成・書技向上の糧として、より一層すばらしい書道部を作りあげる意志です。



連盟について

「連盟と私」

二年 林 英樹

私は福岡大学の書道部に入部仕立ての当時、福岡学生書道連盟の存在を知らなかった。名前を知ったのが四月の下旬に開かれる連盟総会がある二、三日前、一年生が何かしなければならぬと聞いた時である。

そして、親睦会、連盟展、錬成会、秋季連盟総会、卒業生パーティ、スプリングデスカッションと様々な行事を体験して来たが、「中には私用で参加できなかったものもある」——これらの行事で表にたつてメジャーな活動をする所が事務局である。

事務局はすべての行事で連盟員のリーダーとしての先頭にたち、引っ張っていかねければならぬので大変で苦勞する中でもやりがいのある連盟役員である。

しかし、私は編集委員に就いた。これから私の編集委員の中でも、副編集委員長に就いた動機を話してみることにする。——

昔、私は、中学、高校時代と役員とかそのような関係に就いた事がなく、むしろそのような役職の人達に邪魔的存在であったようだ。しかし、大学に入ってから役員の方々は、まさに、自分が、部または連盟を引っ張っていくという魅力に引かれ、それでは自分もその中に入り盛り上げていくのではないかと考えたからである。

その中で編集という役職に興味を持ちしかもリーダー的存在である副編につけると言うチャンスがあったので立候補すると、本当に役職についてしまった。喜んでいながらも束の間、やはりすごい役職名だけに仕事内容も甘くなかった。委員会のまとめ役、盛り上げ役、とその他色々な事をやらなければならぬ。他大学の編集委員には、私のような者が副編になって多大なる迷惑をかけ本当に申し訳なく思っている。

今までに、このような暗い事ばかり書いてきたが、そんな辛い事ばかりではない。

まず第一に、他大学との人々との出会いがあった。この事は、連盟役員にとっては最大のメリットだと思ふ。

もし、私が連盟役員に就かなかつたら、これまでの全ての他大学との知人と巡り会う事は無かつたかもしれない。そして、発行物の出来上った時の安心感と喜び！これは、編集委員にしか分らない喜びだろう。

私は、副編集委員長というポストに就いて、おそらく後悔はしてないと思ふ。これから、福大の役員とまた別の役職に就くが、この編集委員の経験をいかして、数々の失敗をしてきたけれども、その失敗を今度の役員ではできる限り少なくしていきたい。

最後に一年生諸君！誰かが連盟役員に就かなければならないけれど、本当に連盟役員は楽しいと思ふよ。今の一年生だったら誰がなつてもおかしくなくと思ふ。成りたいと思ふ人は遠慮なんかせず、進んで成つて下さい！



連盟について

経済学部二年 松山 浩嗣

自分が事務局に出たきっかけは、ごく簡単な理由です。一年生の頃は、人前に出るのがすごく苦手で、何事も自分からやるのではなく、日との後にくっついて行動していました。

こんな性格を少しでも直したいと思って事務局にでたわけです。確かに事務局は、仕事も多く、毎週日曜日はつぶれますが、一年間やってよかったことは、前よりも積極性ができたこと、他大学にたくさん友達ができたことなどたくさんあります。自分にとってこの一年間はほんとうによい経験でした。

話は、変わって連盟とは、事務局を含む連盟役員が運営していくものですが、やはり連盟員一人一人の協力なしには成り立つものではありません。よく連盟行事に参加してない人が「連盟はきらいだ」などといっている人

がいますが、そんな人たちに自分は”行事に参加してから好ききらいは決めろ!”といたいのです。行事に参加すれば何か一つでも良いことがあるはずです。それを探す為にも是非行事に参加してみてください。自分も今度は、連盟役員としてではなく、一般の連盟員としてこれからも、行事に参加していこうと思います。

最後に次期事務局の人に一言、仕事の量はたしかに多いです、途中で投げ出してしまいたいこともあるでしょう、でもそれをのりきることによって、自分を成長させて下さい。

福岡学生書道連盟

商学部二年 山川 ゆり

書道部に入部してから、連盟員としてもう一年たってしまいました。おまけに私は編集委員までやらせていただきました。それで、今までの連盟についての思い出みたいなものを書きたいと思います。

連盟の行事は、今年三月の討論合宿以外全てに参加しました。よかったなと思うことは、やはり、たくさんの方達にめぐり逢えたことだと思います。これは連盟にいる上での最大のメリットだと思います。行事に参加する度にどんどん知り合いが増えます。私はこれが楽しくて行事に参加していたようなものです。特に編集委員になつてからは、より深い人間関係も生まれたような感じがします。やはり毎週のように顔をつき合わせていたからでしょうか。我が委員会ほんとうに、和気あいあいとしていたことがわかりました。

編集委員会は主に九大書道部の部室で開かれていたのですが、他の委員会の様子を知りませんでした。福大で開かれるようになると、”編集がうるさい”と苦情がでました。それだけ活発な意見交換が行われているのです。

ホントかなあ、イヤ本当です。楽しい企画を作る時はやはり楽しい雰囲気であれば。

話題がズレているような気もするのですが、一つ一つエピソードを書いていると、とても紙面が足りなくなると思います。それほど思い出深いものがあつたと思います。墨跡が遅れたり……等、編集委員になって色々な経験させてもらって、とてもよかったと思っています。

O B 寄稿

遠藤 信広

今年の夏、短い時間ではあったが久しぶりに合宿を訪問することができた。

夏の暑い時期の合宿であり、又、通常の限られた時間での練習と違い一日中他の事を考えずに練習に打ち込めるのであるから普段より中身の濃い、充実したものを肌で感じとりたかったが、残念なことに私にはそれをかんとすることができなかった。最近、書道部に限らず、クラブに入ってくる理由・入ってからの行動が友人を作る一緒に遊ぶ仲間を作ることを目的とした人が増えているのかもしれない。しかし、入部最初の理由がどうである一つの部に入った以上はその部が追及刷る目的（書道部に於いては、親睦融和・人間形成・書道文化の普及・書技向上）に向かって清進することが部員の努めではないであろうか。また、幹事はじめ役員にとってはその環境を作ってやることも大事な事である。四年間、短い期

間に於いてクラブ活動の最終目標まで達することは不可能かもしれない。しかし、努力せず、苦しまず・考えずして先を望むことは出来ないのである。



華中酔行

荒尾 記史朗

成田から乗り込んだ中国民航機では、薄青のジャケット、スラックスの簡素な出立で、スチューワーズがお世話をしてくれたが、上海に着くまで微笑みひとつ浮かべることがなく少々先行が暗い気がしたが、上海はプラタ

ナスの並木が雨上がりの天いっぱい枝をはたいて上々。蘇州に向う道路の両側は尽きることなく、野菜や麦が風になびいている。ここは魚米之郷、長江のデルタ地帯なのだ。

蘇州は、煙雨の中であつた。白壁と苔むした瓦長屋のあちこちには、桐の花が紫に燃えていた。夕食のあと酔いも回り、石畳の街裏の路地を徘徊した。暗くて細い夜の道だった。

この土地には、京劇の原流ともなる昆劇がある。五彩をほどこした舞台で演じられる。物語を紹興酒を酌交し観劇したいものだ。西湖ほとりを舞台にした白蛇伝のストーリーが頭を掠めた。

揚州へ向う鎮江の渡しに乗船したころは、風、雨、雷が激しく、長江は波だち、うねり、流石に揚州八怪のひそむ地へのプロローグとしては上等であつた。その夜の宿は、揚州賓館。揚州の夜は柳の葉がすくすくとのびる音が聞こえる。いきなりグゥー、ゲロ、ゲロ、揚州蛙の大合唱、突如、斎白石の蛙が現われ、私に何やら問つて

確かに過去の大人へのロマンを求め、名所旧跡を訪ねてはいるが、想像していた以上のものはない。彼らを育てた風土、天然は現在もゆっくり流れているとは思つが彼らの内なる宇宙を見るのが大切で、自己の内なるところへの飛翔、自灯明、法灯明とすることによって、ひとつ壁の向こうに、ゆく鍵があるように思えた。蛙の歓喜の大合唱は終つた。

帰国して地図の上で行程を追つてみた。ほんの少しだけ一部分が中国で全体が中国。

うー。

中国がどんなものなんて、いえない。又言う必要もない。歩いた街角の〇〇飯店のめしはうまい、まずいとか〇〇文物店、〇〇友誼商店とかの話はできるが……。

奥の深いどっしりした大陸だ。

挑みたくなる大陸だ。謝謝。

(五月十九日)

宗時代の三大書家について

人文学部	一年	奥野	亜弥
理学部	一年	菅	純子
人文学部	三年	新開	祥子
法学部	三年	中尾	明子

宗時代の三大書家として、蘇東坡・黄山谷・米元章があげられる。蘇東坡（一〇三六―一一〇一）は六朝の形式的な美文から内容を重んじる散文への改革を志した古文復活運動に共鳴・実践した革新的な人物で、彼の文章（詩）は、写実的で率直簡明、かつ精神に強く響くものであるといわ

れている。仏教精神と老荘的思想をもって儒家的思想を突き破ったところから生まれる人間存在の根源に思いをいたす精神を、彼の深い思想の中に見ることができるといえる。

また、彼の書は、底力があり、迫力を強く感じるものである。顔真卿の風をとりいれ、獨創性に充ちた書に、彼の潔癖な人格があらわれているといえる。

蘇東坡と最も私淑していた黄山谷（一〇四五―一一〇五）の書は骨つ節の強さに徹しており、筆勢が縦横にさしこまれていいる。これは彼が筆力と、ある氣象を重んじられた結果と思われられる。この氣象というものは、彼が書の上で最も尊敬した顔真卿の書に見出そうとした晋人のもっていた超逸絶塵の気である。この氣象に徹するため、彼はよく書を学び、筆力を鍛練し、終生その精神を怠らなかつた。また、中年以後の左遷による憂心の境遇とその心境を考えると、彼の書の深みが一通りでない。ある魂の宿った大家の書であることが感じられる。

米元章（一〇五一―一一〇一）は、中国三千数百年の長

きにわたる書の歴史上において、この人ほど逸話に富んだ書家そう多くはないと言われる。

彼は幼少の時から、豊かな環境で育ったせいも、きわめて尚古趣味の豊かで保守的な男であつたらしい。彼の書は一点一畫、古い晋・唐の名跡に立脚し、しかも全体として古人の一種の高い氣韻を狙っている。行書帖は、字も大きく堂々、伸び伸びとしており、渴筆の激しさ、これこそは彼独特の名調子である。彼の書の特徴は、縦長で右上がり一字一字に黒と白との調和と流れがあり、字の大小、ポイントなどがはっきりしていることである。

以上のように宗時代の書家は、それぞれ個性豊かで、趣深く、書くほどに味が出て来るように思う。それ故、彼らの書の特徴・深み・獨創性などを自分なりに受け止め、研究し、練習していくことは大変意義深く、書を学ぶものにとって有益なことではないだろうか。



而笑洗盞更酌看核
 既畫杯槃狼籍相与枕
 藉乎舟中不知東方之既
 白



登車攬轡
 慨然有澄清

擬古
 青松勁挺姿凌霄
 耻居盤種出枝葉
 連上松端秋花起
 瘴烟
 倚旌室錦殿不
 善不
 自立舒光射丸
 相見

赤木先生インタビュウ

赤木先生インタビュウ

講師 赤木 石掃

今回は赤木先生が現在考えておられることや、趣味と書道の関係などについてお伺いしました。

役員

今回は、先生の趣味・興味につきまして伺いたいと思います。宜しくお願いします。

赤木先生

僕の趣味は、いろいろあるんだけど、まあ大きなもの一つは音楽でしょう。本当はあまり詳しくないんだけど、知らないからいろいろ聞きたいんですよ。書の美しさ、殿村先生を離れて二十年たつてみて、日本の作家の書を見て改めて先生の書の美しさを再発見

役員

赤木先生

しました。それと同じように音楽の美しさからも書の美しさを知ることができるんです。先生と音楽との出会いをお聞きしたいのですが。

器用だったからね。学生時代から赤木は何でも出来ると言われていました。(友人から)体育科に進んだのも、そこからかなあ。寄宿舎にずっと八年間いて、全寮制であったから筑波大学時代(流行りの歌の音符を買ってきてハーモニカやギターでみんなに聞かせたりして寮に歌を流行らせる役だったんだ。でも当時はクラシックなんてほとんど聴いてなかったよ。だから今(卒業してから)聴くようになったと思うね。今はとにかくクラシックを聴いてみたいね。美しいから……子供が生まれて、僕はピアノだけはゆきずまったから自分が一番ゆきずまった点を息子にやらせたかったんだ。だけどソナタからソナチネに入るぐらいまでは、僕が息子のピアノ

役員

の先生だったんだ。そんなことが息子が音楽学校に行くキッカケになったと思います。僕は息子さんが、ピアノとかされていて何で書道はしないのかなと思ってました。

赤木先生

音楽自体が好きなんです。高いものより生が最高です。殿村先生のもとを離れて、又、音楽を聞くことにより、美しさを再発見するんです。音楽の嫌いな人はいないと思います。男がかわいい子が好きのように、クラシックの美しさを知って欲しいのです。また本当のクラシックの美しさを知るためには生の演奏を聞いてみたら良いと思います。

役員

一年に一度、自由参加ですけれども書道部もそういうコンサート（音楽の夕べ）を聞く機会があるんです。

赤木先生

良いことだね。クラシックを好きになるには、まず生の演奏を一度聞いてみることに、そしてベートーベンの第九番のような“流行りの曲”から聞いてみる。そしてどうしてこん

役員

なことをするんだろう？と研究してみるのもクラシックに入る第一歩であると思いますよ。ベートーベンから入るとモーツァルト、ハイドンなどのならばが少しづつ解ってくる。するとバッハまでいきたくなるんだよ。そしてベートーベンからあらためて下の方へさがっていくんだ。これが解りやすく最高に良いと思うよ。

ただ好きだからって言うのが純粹で最高だと思います。

赤木先生

今はもう一つ射撃にこってるんだ。珍しいでしょう。スキート法でいろいろな角度から撃つんだ。いずれにしても手先じゃダメ。体と心がついてこないと書も同じことでしょう。手先で撃ってもあたらないんだよ。あとはバイクかな。でもバイク……。バイクは神経の使い方が良い。年をとってからの良い練習になります。バイクよりはスクータ、スクータよりは車の順でほけるのが速いんじゃない

役員

赤木先生

ないかなあ。体力についてもだから、たまには自転車で行ってるんですよ。トレーニングです。岩田屋とか福大は自転車です。(最近、自転車で来られています。一時々モモチパレスも自転車で行ってるんですよ。でも西新は少し危ない気がします。特に夜車がね。最近先生が日常で思われるような事があればどんな事か教えていただけませんか。そうだね。すべて明日の事を考えると、楽しくてしょうがないね。明日はどんな字が書けるんだろうなんて考えると「子供が遠足の前日嬉しくてねむれない」なんて事に似た感じ、まだもうしばらくはまだまだ負けませんという風になるんです。年とつたら、明日の事なんか、考えたくないと言う人が多いですけれども、これは僕の特技かもしれません。おもえば昔、病氣した時は、やっぱりきつかったし、明日の事なんて考えられなかったと思う。のんびり楽しく明日を考えていくのが

健康の秘訣です。君たちでも、あまり考え

ぎて苦しむよりは、部員に会うのが楽しくなるようでないとね。でも一番の趣味は書道です。これを生かして、皆さんに御会いできたら又、それもこれも書が好きだったからです。僕の書き振りを見てほしいから、好きだから書いてるんです。お金を取ったことのないのが自慢だね。それは趣味だからだよ。純粹さがあるんだよ。どこに行っても書いて見せてあげたいのが一番。趣味の延長だからなあ。純粹な気持ちで形にとらわれないことですよ。

赤木先生

無心とは純粹に感じることでしょう。それが大事なんです。

役員

そんなに趣味はないと言われますが、先生はとても多くの趣味をもっておられるなと思われ

赤木先生

多くの事をやるのは自分にあてはまるのかな

役員

好奇心がすごいと思います。好奇心が一番、若い時からいろいろな事をし

赤木先生

とかないと青年期にいろいろなものを見てそれを少しづつ広げていく。勉強だけというのではなく、他の事も同じくらいやらないと。

OBのみなさんに一言

昔のようにパンツ一枚ということは無いがエネルギーは負けてませんよ。心配しないで下さい。まだまだ元気です。

本当に元気の良い先生で、我々部員もますます頑張ろうと思っております。今後とも宜しく御願ひします。

余始興公故為諒官僕與
林路為代雅以文藝同好甚
相得於其別也故以秘玩贈之
題以承兩姓之子孫異日相值者



百 字 P R



書道部の清く明るい青年男子・女子がつづる青年の主
張、それぞれの個性が光っています・・・かな？

経済学部 二年 松山 浩嗣

二十八代会計になりました松山です。俺は金持ちだ！

———！松山浩嗣 二十才 男

商学部 三年 岸原 貞弘

僕は、水のように生きていきたい。



商学部 四年 中川 統博

入部当時「三日でやめるぜ、きっと」との幹事さんの
予想に反し、早四年、もうやめることは無いでしょう。
みなさん、四年間本当に有り難うございました。

後輩諸君、もっと酒を飲め、もっと遊べ。

商学部 二年 下川 まき子

どーもおー！下川まき子です。私は四十二年の七月十
八日に、この世に誕生したので、はや二十年になります
もうお・と・なです。私は、少年隊のニッキがタイプで
す。このような私ですけれども宜しくお願いします。

経済学部 三年 鬼頭 雅人

考え悩むことを覚えてはや三年 考える時はいつも一
緒でした " YOU ARE INSPIRATION
・・・CHIKAGO" 胸にしみいる名曲です。

法学部 三年 中尾 明子

理学部 一年 関 広美

私の告白。実は私、今年の夏休みに五泊六日で北海道に行ってきました。雨ばかりだったけど楽しかったです。お勧めは知床半島。オホーツク海は、玄海灘とは違う「北の海でした。」

経済学部 二年 山下 直子

私は、「努力と集中力」をモットーとして、何事もやっつけていきたいです。悩みの一つとして、せめてあと五センチほど身長があったらと思っている女の子です。ちなみに血液型はB型です。

人文学部 二年 鶴原 哲英

私のチャームポイントは頭の中に隠されているかわいい赤い点です。明日から九州場所です。頑張ります。それではサザエさんの終わり方です。うんがっうん!

工学部 四年 木下 晋

夢を描く、ロマンを書く、そして、人生という書物を書く。これが私のモットーです。

昭和四十二年十一月九日生まれ、大分県津久見市に生まれ、ラーメン屋の息子として鍛え上げられた。そのラーメン屋の息子が親をアッと不安がらせる人文学部・英語学科で頑張っています。十代ももう終わりだ。二十代は好きな事をやりたいだけやりたいです。A型、さそり座 性格(良)趣味は旅と一人でボーとすること。どうぞ宜しくお願いします。

人文学部 四年 真角 寛子

法学部 二年 桜井 茂之

書道が好きで入部したのですが、履修科目を欲張り、三年の夏休みはすべて司書講習に費やし、通学に時間をとられるなどして、クラブにあまり参加できませんで心苦しく思っています。「継続は力なり」このことを痛切に感じています。折尾の産業医大の近くに住んでいますので、こちらにおいででの折はお立ち寄りください。

経済学部 一年 山本 佳正

工学部 一年 佐々木 隆行

昔、「水連」が言った。君の目は虫の目だと。そして今だにシャルパンティエ夫人に甘える様な事はしない。利を追うか、何故追求するのか三月ウサギでいることは手紙を持つ大佐とは違はずだから。芸術が人によるのでなく、人が芸術によるのである。・・・ワイルド

S 四十三年十二月二日生まれ、まだまだティーンエイジャーです。私は福岡県は北九州の門司区出身です。門司は九州の最北端の地であり、関門海峡をはさんで本州が見える地に生まれ育ちました。小さい頃から、本州と九州の両方で遊んでいた私です。

那珂川に住んでいる佐々木は、今車が故障中なのでバイク通学しています。車がなおったら、車で通学するつもりです。しかし、ガソリン代にこまるのでバイクをしなければなりません。誰か良いバイトがあったら紹介してくれませんか？

二十歳を越えた今、秋も深まり落ち葉が目立つCAM PASを歩いていると、二十年間の思い出が頭をよぎってくる。幼稚園・小学校・中学校・高校・そして大学の一年半の間で、時には勉学に励み、時には遊び、時には恋をし、様々な思いでは小石のようにかぞえきれないほど存在する。僕はいま二十歳だ。僕のいまの気持ちには熟した果実のように甘く、浪漫がある気がする。今の思いを精一杯青春の座にぶつけて走っていきたい。

人文学部 四年 大谷 薫

「メトロポリスの片隅で」

ユピーマシンのように流れておちる日々も いつしかクリップではさんだ青春になる。

ある時 街角で足をとめる かすかな追い風をふりかえる。

私は夢みる Single Girl

中学時代はバレエ部、高校時代は帰宅部、そして現在福岡大学書道部に在籍しています。自分の血液型はB型で、自分自身も典型的なBと思っています。が他人からはよくAと間違えられます。

商学部 二年 中村 修二

「私と竹下登」

唐突であるが、自分と彼を比べてみよう。以下・竹下

(竹)中村(中)ニックネーム(竹)タケちゃん(中)

ピンちゃん、キャチフリーズ(竹)世界に開く文化経済

国家の創造(中)書道中心とアフターサークルの徹底、

財布の中身(竹)十万円(中)二千元、家業(竹)作り

酒屋(中)菓子屋・これからの日本と書道部を背負う二

人をよろしく。

法学部 一年 重富 佳代

法学部 一年 高野 亜希子

私はおとなしくて、もの静かな性格です。だからこれからの私の課題は自己主張だと思ってます。いつも片すみで、たたずんでいるような私ですが、どうか宜しくお願ひします。

商学部 二年 木村 浩太

人文学部 二年 三村 智美

野牛のような筋肉を持ち、手漕ぎの小船で大海を渡り修験の山を駆け巡る。俺はこれをやる。そこに女がいることは言うまでもない。



私はよく”ぼおーっ”しています。学校で手を振ってくれる人が居ても気付かず、”通り過ぎてしまう”私はそうゆう大ボケな人間です。でもみなさん、私をみかけたら思いつき手を振ってください。多少遅れをとりますが、きっと気付いてみせますので。



商学部 二年 滝 匡由希

理学部 一年 大久保 美智代

僕の好きなCMは”コココーラ”の宣伝です。それはみんなで生き生きと、また楽しそうだからです。部員も書道に楽しみを感じたならば、もっと素晴らしい部になると思います。

私は、誰もが認めるO型人間です。いつでも、ぼけーとしているから、そう見えるそうです。こんな具合です「一気合い」を入れて頑張りたいと思います。

法学部 一年 永友 浩二

商学部 二年 山川 ゆり

こんにちは、私が永友です。まず自己紹介させていただきます。私の出身地は宗兄弟で有名な延岡市、生年月日は、S四十二年・四月七日でお羊座のO型です。書技面は、まだまだ未熟ですが四年間の間に誰にも負けない書体が書けるように頑張りたいと思います。

空はとっても良い天気です。こんな日はバイクでカーンと、とぼしたり、ゆっくりドライブでもしたいですね。でもバイクも車もないんだもん。来年はこんなグチをこぼさないようにしたい。とふと思う。元・いつもにこにこ編集委員であった。

工学部 四年 木下 晋

法学部 一年 石井 太治

夢を描く、ロマンを書く、そして人生という書物を創る。これが私のモットウです。

経済学部 一年 宮崎 隆司

今日のおてんとう様がおがめるのは、神様のおかげです
明日もおがめるといいですね、頑張ります。

商学部 四年 前田 秀樹

人と人との付き合いって、信頼しあつていてできるものだよね！あなたは今、誰か信じられますか？自分の気持ち話し掛けたい友がいますか？

もつと心を開いてみませんか！

生年月日は昭和四十四年一月十八日で、国民栄誉賞受賞者衣笠祥雄様々と同じ月日です。(チナミに広島ファンだ。)趣味は音楽鑑賞で好きなアーティストはカシオペアだ。みなさんの中でファンの方がいらしたらお話ししましょう。いつでも相手するぜ。おっとそれと誕生日のプレゼント待ってるよーいどん。

経済学部 三年 岩井 弘一

本を読んでいて感ずる事が三つある。①先覚者がいること。②彼も同じ人間だ。③心ここに有らざれば、見れども見えず。である。一つの言葉が人生を変えることもあるのでは？あなたにとっての座右の銘とは何ですか？

”ピンチはチャンスなり”

商学部 一年 田原 陽子

商学部 三年 北本 正範

私は、二年のS先輩に「マンボウ」という名前を頂いた程、ぼーっとしたヤツです。ミィハだとも言われましてもっと大人になろうと思います。

経済学部 三年 井上 憲司

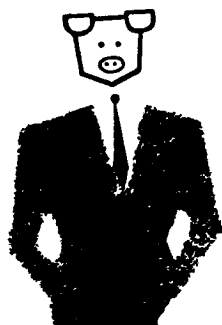
高校時代は左手にギターだこをつくっていた自分も現在では右手にベンだこをつくっております。高校時代はうぐいすと間違えられるぐらい奇麗だった声も、現在ではタバコとお酒と掛け声でしぶくなりました。

商学部 一年 内山 直美

私が入部してから、かれこれ三年の月日がたとうとしています。今考えてみると四年間という時間は短いものです。先輩諸君、これからの日々有効に使おう。

法学部 一年 吉田 本博

私は、書道は未経験で全然字が下手だったけれども、勧誘週間のとき、カルピスをおごってもらって入部しました。私は書道に青春を捧げたいと思います。頑張るの
で宜しくお願いします。



典型的ABの僕は、たいへん気分やです。好きなアーティストは、TULIP! ちょっと暗いけど、みんなも聞こう!

理学部 一年 管 純子

私は、雨が降ろうが、嵐が来ようが毎日学校へ五十センチバイクで通学している、といったたくましさ？を持つていると思っっている。

人文学部 二年 真崎 志津子

私が二年生になって、書道部に入部したのはいたって簡単な理由で、字がうまくなりたかったからです。そして、半年たった今どれだけ字がうまくなったかと言えば私は、ただただ小さくなって頭を抱えるだけなのです。

商学部 二年 田中 香

私の初恋は、小学一年生の時で、沖修次君と言います。山下直子さんの初恋も小学一年で沖修次君と言います。三年の冬、私が転校していったおかげで沖君は、山下さんのものになりました。だけど私は別の学校で、谷川君をすきになったので別にいいです。

商学部 一年 中倉 幹人

僕のお父さんは、ヤッチャんで、お母さんは、水商売をやっています。お父さんは、毎日パチンコへ、お母さんは川へ洗濯にいらっています。そこへ、大きな桃が流れてきました。そこから生まれたのが何を隠そう、この僕なのです。

薬学部 二年 檜崎 栄子

「んー。」と言いながら起き、五分で洗面、着替えをすまし、車の中に、note, coat, etcを突っ込み「行って来ます」おにぎりも忘れずに・・・唐津からの道のりは、通学というよりdriveみたいで、おにぎり食べながらMozartを聞きながら、ついでに車の運転もしながら、私は、学校にやって来ますんー。有意義だ。

商学部 四年 白糸 林太郎

私の四年間で一番充実していた時は、打ち上げでビールを飲んでいる時だったのではないだろうか。

人文学部 三年 新開 祥子

You Were Just Teenaged
I am For Me...

商学部 一年 奥野 亜弥

「お前の原稿はなくなったぞ」という宣告を受けた。同じ事を思い出すのは嫌いな私なので、あの名文はこのまま埋れてしまうのです。後世発見されたら、きっと世界中のセンセーションとなるでしょう。ほうら、文句ばかり書き連ねると百字なんてあつと言う間。

人文学部 四年 石川 憲喜

学而、連落、宴会、松風閣、名札、小札、ラウンジ
四四七、ゴミ捨て、開運殿、部報、正座、雲肌、印泥
三研、賞状、部費、広告取り、七紫三羊、オリンピック
学生服、開明墨液、高砂、意義目的、毛氈、友、そして書道部。

薬学部 四年 正木 喜美子

「物言えば唇さむし秋の風」だから一言だけ。四年間
籍を置かせてもらって、書道部に感謝しています。

・・・本当はもう冬だけどけどね

OBインタビュー

OBインタビュー

山本 登先輩編

今回の書心荒鷲の制作にあたり、OBの先輩方の生の声を生かすことができる企画を、色々考えた結果、第二十七代の役員は、大胆にもそのテーマを「僕らの時代」と設定し直接OBの先輩にインタビューを試みることにした。

まず、インタビューの相手を決めなければならない、そこで、我々は、何人かのOBの先輩方とも相談した結果、五十年卒業の山本 登先輩にインタビューをお願いすることになった。山本先輩は佐賀県に在住され、結婚されていて、二人のお子さんがおられます。

我々は十月三日の朝に、山本先輩と最終アポイントメントをとって、はりきってインタビューに向ったのだ。そして、いよいよ夕方、山本先輩宅でインタビューがはじまった。

役員

まず、当時の部員の方は、どのような感じだったんでしょう？

山本さん

山村君や荒尾君がいたなあ、僕は卒業して筆を握ってないけど、山村は偉いなあ。あれが入った時は、字があんまり上手じゃなかったんだよ。でも、あいつは、結構書いてたねそれが実のつてね。当時は、造像をやっていたねえ、細字が書けなかったよ。僕は、山村と一緒に下宿で六本松にいてねえ、なぜかって、天神に近いから。

役員

ハァー。

山本さん

夜でも、毎日落書きしてたよ。山村が県展に通った時は、うれしかったねえ。

奥さん

荒尾さんは、個性的だったわねえ、やることなすこと言うことすべてねえ。

山本さん

荒尾は当時から器用だった、それまでは、表装を業者にしたのんでただけど荒尾が始めてそれから自分達で表装するようになったんだよ。

役員 本当ですか、僕達は、当り前たとおもってま

した。

山本さん うん、多分僕達からだだったと思うけど……

奥さん 筑女も、そのころから自分達で表装し始めたんじゃないかなあ……

役員 当時のクラブは、いったいどんな感じだった

んでしょう？

山本さん 当時、約六十人ぐらいいたかなあ、多い時と

少ない時が極端だったからなあ、女の子は、いなかったよ。同輩は、結局男ばかり十人だったから、当時から連盟の女の子と遊んでいたかな？ やっぱり外に目がいったのかなあ。

僕はいいかげんな方だったから、この写真を見てくれよ（同期の方が六人写っている写真僕の同期だけで、こいつらは、「何とか会」とかを作って、女の子とよく遊んでたよ。

役員 連盟の方とですか？

山本さん 今でも、連盟やっってるんでしょう？

役員 はい、やっています。

山本さん 練成会はどこでやりようとうと？

役員 英彦山でやりました。

奥さん あんまり変わってないんですねえ。

役員 当時の事を色々聞かしていただいたんですが

今の学生を見てどう思われますか？

奥さん いっしょじゃないんですか。

山本さん 外見は、違っし、考え方も違うと思うけど、

どうかねえ？よくわからんねえ……。当時はアイビーがはやってたねえ二つのパターンがあつてね、ラップスボンとアイビーでね、九大がラップスボンをはいててね合宿とか行くと良くわかつたね、今でも、山村なんか変わってないと思うけどなあ。よく新人類なんて言うけど、確かにわからん人もいるねえ。

役員 日本間についての思い出は、ありませんか？

山本さん 練習が終って、酒飲んで、当時はねサッポロジャイアントが安いからって飲んで、次に安いウイスキー、それから焼酎を飲んで、部

室に行つて寝てたね、明くる日は一日酔いで道場で寝てたね

奥さん 今は洒落た店なんかで飲んだりするんでしょ

役員 今もだいたい昔と同じだと思えますが、でも連盟ではちょっと変わったのでわないかと思えます。

山本さん 今は、全く違つて聞いたけどなあー

役員 今は、ビリヤードが流行っているんですよ。

山本さん 当ても流行つてたよ、色々やっていたけど酒を飲むのが多かつたなあ。「一気飲み」とかはなかつたけど、あんなのはバカだなあ……と思うけど、つがれたのは飲んだよ。

役員 連盟のコンパはどうでしたか？

山本さん 打ち上げには、参加しなかつたよ。同班会はあつたよ。その班でクリスマスまで盛り上がったなあ。

奥さん おとうさん（山本さん）は、あまり連盟のコンパには、いかれてないみたいでしたよ。

山本さん 役員時代は、自由だったよ、制服は、普段、

着てなかつたよ。江田島に行った時は、学制服だったよ。あそこには行ってみたいなあ。

役員 今、どこに行つてゐるの？

山本さん 毎年変わつてますけど、今年は、宮地嶽神社に行きました。

山本さん

僕の時、江田島でねえ、あれが思い出に残

った。カッター訓練、船二隻で宮島まで漕いで行つたのが、物凄く思い出になつてゐる。

古高山に登つて、二月、三月の寒い時だったけど汗がでてあつくてねえ、登つて食べたにぎりめしは、おいしかった。暇があれば、あの山に登つてみたいなあーと思う。女の子も登つたんだよ。これは、みんなが協力せないかんけんねえ。あれをやれば、他に何もいらなと思うよ。今でもあるのかなあ、と思つたけど、今の学生がナンセンスだと思えば、あれだけ書道部は、体育部とまったく同じだと思つよ。先輩、後輩の関係は、厳しかったよ。クラブというのは、一つのものを作る

のだから、そこらへんのものは、出来るはず
同好会とクラブは違うからね。

役員

今は、男女の格差というのが、若干見られる
ようです。

山本さん

当時は、女の子も頑張っていたよ。

役員

えーっ、今度は、少し恋愛について、先輩の
お考えをお聞きしたいのですが。唐突だとは思
いますが、ずばり、奥さんと会われたキッ
カケは？

山本さん

えーっと、春の総会が九大であって、いやいや
や行って、後ろに座って、見てると、あの子
かなあーと思った。でも、実は人違いだった
んだよ。後で、松田に、名前を聞いてもらっ
て、次ぎに会ったら違って、はじめて、
筑女に行ったら、あいつがいたから、あれー
と思った。それがキッカケだね。福大前の喫
茶店から、TELして、デートを申し込んだ
その日は、七月四日で、デートは、七月七日

だったよ。

奥さん

よく覚えていますねえー。

山本さん

アメリカの独立記念日だからだよ。デートは
週一回ぐらいで、喫茶店とか、焼き鳥屋とか
で、昔は、新天町に行くとかに見られるとい
う伝説があったよ。昔は、地下街とかなか
たからねえ。

役員

今は、天神コンコースに行くと、必ず誰かに
会うという伝説があります。

山本さん

つきあってるといのは、すぐ広まったけど
好きなようにやってたよ。揮毫大会前（つ
きあい始めて、二、三ヶ月して）わかれよう
って言うてきたことがあるんだよね、当時
ショックで、時間をくれと言って、三週間ぐ
らい会わずに大会を一生懸命にやっていて大
会が始まる前にTELがあって、下宿のおば
さんが気をきかして、メモを置いてくれて



た。向こうがよりをもどしてくれと言ってま
たもとにもどったよ。それから、大会まで突
っ走ったね。僕が三年で奥さんが二年だった
から、僕が四年の時は、もう社会人だったか
ら、そして、僕は、就職の関係上、関西にい
ったからねえー。僕が入社当時「木綿のハン
カチーフ」の歌詞が自分の気持ちとピッタリ
で、これじゃいかんと思つて毎日会おうつて
いったよ。

奥さん
この人のいいところは、面倒見がいいことで
すごく、下の者を見てあげていたと思います
会社でもそれは、変わってないみたいですね
最後に、今の部員になにかあればお願いします
す。

奥さん
今、楽しんでしょー

山本さん
一生懸命やればねえー。

奥さん
私は、学生時代と結婚前が楽しかったなあー
何の心配もなく楽しめるじゃない！一生懸命

するのがいいよ。

山本さん
何でも思い出にすればいいんだよ！僕は、も
う少しやればよかったなあーと思うんだよ、
もう少し時間を有効に使えばよかったなあー
と思う、生活はクラブ中心だったけど、練習
に行かないひももあった。練習は、しなくても
部室にはいったよ。ただ来ない者がいても僕
の場合どうのこうの言わなくて、クラブに何
をしに来るのかをハッキリしろと言ったなあ
服装は、自由だったよ。山村とか、赤いジ
パンを着てたよ。クリバとか、派手だった！
みんな、それぞれおしゃれで…。

その時代時代で、変わるべきだろうね。



インタビューに行った感想としては、山本先輩は、現在会社などで大変お忙しい中でわざわざ時間を割いていただいで大変申し訳なかつたと思います。しかし、山本先輩は昔のことを話していらしゃる時、懐かしみながらも何か訴えかけられているようで、聞いていて今も昔と同じ気持ちを持っておられるのだなあと感じました。恋愛も、書道も、学生生活も、おもいっきりやるものだと思わせてくれる先輩でした。

家族構成

世帯主	山本 登	(三十四歳)
妻	山本 富美香	(? 歳)
長男	山本 智将	(七 歳)
次男	山本 将仁	(四 歳)

山本先輩、奥様ならびに、インタビューに御協力頂きました皆様、厚くお礼申し上げます。

終り



新人 紹介

ザ・ルーキーオブザイヤ

このコーナーでは、今年入部した新人の中から一人ピックアップして、その実態を皆さんに紹介しよう！と、するものです。

数多い候補の中から今回この企画に選ばれたのは、今年二年生から入部した女の子です。

プロフィール

氏名 真崎 志津子

生年月日 昭和四十三年 一月十日

星座・血液型 O型・山羊座

学部学科 人文学部文化学科

チャームポイント 笑顔

趣味 枝毛探し

ウインドショッピング

それでは、彼女の真の姿にせまってみましょう。

まず彼女の第一印象はとてもしっかりしたお嬢様といった感じでしたが、わりとクールな面も持っているようです。事実、彼女は寮で寮長をやっているそうです。

質問 普段どんなことしてるの？

答え 学校行ってます。（聞き手 こける）

質問 いやいや、休みの日とか？

答え ショッピングとか枝毛探しです

質問 それとか、ボーイハントとか？

答え しませんよ！（真顔で）でも好きですけど

なーんてね

質問 じゃ、クラブのことを聞きたいと思います

入部動機は？

答え 字が上手になりたかったんです。

質問 クラブに入ってなんか変わったことありますか？

すか？

答え はいっ！朝早起きになりました。まあそれ

ととっても楽しいです。

質問 今、一番やりたい事は？

答え 旅行です、萩とか津和野とか・・・

質問 じゃあ、今、一番欲しい物は？

答え 車かなあー、でも運転はしたくないんです

免許はあるけど (わがままー)

質問 それと、わりとエッチでしょう・・・？

よく思い出し笑うから・・・

答え はっはっは、でもひどーい！

エッチじゃないけど、わりとドジなんです

ドライヤーで髪の毛焼いちゃったり、体育

のスケートで自分で特訓したのはいいんだ

けど、ねんざしちゃって結局テストは受け

られなかった、なんてことも色々あるんで

質問 す。ドジですね。

いろんな話が出ましたが、ページの都合で

このへんで終りたいと思います、どうもあ

りがとうございます。

とても明るい、でもちよっと変わった女の子です
最後に、「これからもますますクラブを盛り上げて
いきます、まかせて下さい！」と胸をはってくれた
彼女でした・・・はい。

文責 松山 浩嗣



◇ ◇ ◇ 編集後期 ◇ ◇ ◇

二十七代の集大成「書心・荒鷲」が完成しました。

この一年間の活動を写真、エピソードを織り交ぜ書道部の足跡として掲載しました。今回は、初めての試みとしてワープロによる活字印刷を行いました。最初は、まったくの素人で、どうなることかと思いましたが、どうか発行にこぎつけました。この一年間の足跡をこれから書道部の糧としてより一層の書道部の発展する事を強く切望します。

最後に御協力頂きました関係者各位の方々に対して部員一同感謝し、心よりお礼申し上げます。

鬼頭雅人
岩井弘一

「書心・芒爪就鳥」

第二十八号

福岡大学学術文化部会書道部機関誌

昭和六十二年十二月 発行

発行責任者 北本 正範

編集責任者 鬼頭 雅人

発行所 福岡大学学術文化部会書道部

〒八二四一〇一 福岡市城南区七隈八一十九一

電話 八七一一〇四七二

印刷所 井上印刷（株）

福岡大学学術文化部会書道部

規 約

第一章 名称及び目的

第一条 本部は福岡大学学術文化部会書道部と称し、本学学生による書道愛好者の団体である。

第二条 本部は部員相互の親睦融和をはかり、人間形成を目指すと共に書道文化の普及、書技の向上を目的とする。

第三条 本部は前条目的を達成するために次の事業を行なう。

一、書道に関する事業

一、書道に関する調査並びに機関誌などの刊行

一、関係団体との親睦ならびに連絡提携

一、各種展示会出品

一、その他前条目的達成のため必要と認めたる事業

第二章 組 織

第四条 本部は講師及び部長各一名を置く。

第五条 本部は幹事、副幹事、会計、企画、庶務、渉外、その他必要とする役職を置き、本部を代表する。

第六条 本部は次の機関を置く。

一、役員 会

一、部員 総 会

一、O・B会、但しO・B会規約は別に定める。

第三章 役員 会

第七条 役員会とは、部の円滑なる運営を期するための機関である。

第八条 本会は原則として、第五条に基づく役員によって構成される。但し、第五条に基づく役員以外であっても幹事が認められた場合には、本会に出席することが出来るが議決権はないものとする。

第九条 本会は幹事によって召集され代表される。

第十条 本会は毎月一回開くことを原則とする。

第十一条 本会の議決は、部員総会の決定を妨げるものではない。

第四章 部員 総 会

第十二条 本会は本部の最高議決機関である。

第十三条 本会は本部の部員によりこれを構成する。

第十四条 本会は必要に応じてこれを開き、幹事がこれを兼務する。

第十五条 本会の議長は原則として、幹事がこれを兼務する。

第十六条

一、本会会は部員の過半数をもって成立する。

一、本会会の議決は出席者の過半数の賛成を必要とし、可否同数の場合、幹事がこれを決定する。

但し、出席者の過半数の賛成で重要事項とし、その決定

には出席者の三分の二以上の賛成を必要とする。

第十七条 本部会不成立の際、出席者の三分の二以上の賛成をもって

仮議決することができる。但し、

一、仮議決については事後部員総会に於いて過半数の承認を必要とする。

一、重要事項は仮議決することはできない。

第五章 役員

第十八条 役員構成は第五条に同じ。

第十九条 第三条につき、外部関係諸団体へ役員を派遣することができる。

第二十条 幹事は本部を代表し、副幹事は幹事を補佐し、幹事に支障ある時はその職務を代行する。

第二十一条 本部の役員改選は選挙制にし、これを重要事項と認め部員の無記名投票による選挙を行う。

但し、委任状は認めるが、委任の方法は年度によって異つても良いものとする。

第二十二条 本部の役員の任期は四月一日より翌年三月三十一日までとする。

但し、役員改選後、翌年三月三十一日までは代行期間とし、その責任は新旧役員の連帯責任とする。

尚、欠員が生じた場合これを補充する。

第二十三条 役員改選は原則として十月に行なう。

第六章 役員 の 職務

第二十四条 役員 の 職務 は 次 の 通 り で あ る 。

一、幹事は部務を処理し、部を統括する。

又、部の代表責任者であり、その責任を学術文化部会と部全体に負う。

一、副幹事は幹事を補佐し、幹事に支障ある時はその任務を代行する。又、福岡大学書道部OB会の事務を担当する。

一、会計は部費徴収並びに部費予算に関する収支の記録決算書を作成。

一、企画は第一章第二条に定められた本部の目的にそつて諸活動を企画する。

一、庶務は本部の活動に必要な諸事務を行ない、資料の徴収保管をなし、機関誌の発行を行なう。

但し、機関誌の発行は年一回とする。

一、第五章第十九条に基づく役員は、本部関係諸団体との親睦融和を図り部の向上を目指す。

第七章 会 計

第二十五条 本部の会計年度は四月一日より翌年三月三十一日までとする。

第二十六条 本部の部費及びその他の所定納入金については、前年度末に部会に於いて決定しなければならない。

第二十七条 会計報告は会計が行なう。又、部員の要求に応じて会計簿を公開し、年一回決算報告書を作成し、これを報告する。

第八章 部員の権利義務

第二十八条 本部の部員は次の権利を有する。

- 一、本部のあらゆる活動に参加し、人間形成の場として利用すること。

一、本部の役員総会に出席し、その議決に参加すること。

一、本部に於ける選挙権、被選挙権を有する。

一、本部の備品及び図書を利用すること。

第二十九条 本部の部員は次の義務を負う。

一、部員は部員総会に出席すること。

但し、やむなく欠席する者は事前に欠席届を幹事に提出しなければならない。

一、部員は部員その他の所定納入金を定期に納入すること。

一、本部の規約に従うこと。

第九章 入部・退部

第三十条 本部の入部は年度始め募集することを原則とし、学文会登録及び入部金納入をもって部員とする。

本部の退部は書面をもって幹事に願ひ出て、役員会の承認を得、部員に通達する。

但し、退部を希望する者は、その在籍期間までの所定の納入金を完納する

第三十二条 書道を研究する熱意なく本部の名誉を汚したる者、部活動を理由なくして一ヶ月以上怠った者。又、部の秩序を乱す者は部より除名する。

但し、欠席届出者についてはこの限りではない。

第十一条 規約改正

第三十三条 本部規約改正の発議は部員総会に於いて部員の四分の一の

同意により総会の議決を経て行なわれる。

尚、改正においては、本部員の三分の二以上の出席を必要とし、その出席者の三分の二以上の賛成を必要とする。

附 則

附 一 本規約は、昭和三十五年より実施、昭和四十五年四月一日

改正。

第十章 罰 則

福岡大学書心会

規 約

第一章 総 則

- 第一条 本会は福岡大学書道部書心会と称する。
- 第二条 本会は事務局（本部）を福岡大学書道部に置く。
- 第三条 本会は支部を置くことができる。

昭和五十六年一月一日
改正 昭和五十九年一月十六日
昭和六十一年一月一日

第二章 目的及び事業

- 第四条 本会は会員相互の親睦を図り、書道文化の普及、向上に努めると共に福岡大学書道部の後援を行ないもって軌道に貢献する事を目的とする。
- 第五条 本会は前条目的達成の為次の事業を行なう。

第八章 本会は次の各号の役員を置く。

- 一、書道の振興に関する事業
 - 一、書道に関する研究物、機関誌等の刊行
 - 一、関係諸団体との親睦及び連絡提携
 - 一、各種展示会出品
 - 一、その他前条目的達成の為必要と認めた事業
- 一、会長（一名）
- 一、副会長（若干名）
- 一、評議委員長（一名）
- 一、副評議委員長（三名）
- 一、評議委員（原則として各代一名とする）
- 一、事務局次長（一名）
- 一、事務局委員（若干名）
- 一、会計監査委員（一名）

第四章 役 員

第三章 組 織

第五章 役員 の 職務

- 第六条 本会正会員は福岡大学書道部員として登録をなし卒業をした者をもって構成する。但し強制するものではない。
- 第七条 本会に総会、評議委員会、および事務局をおく。
- 第九条 本会の役員は次の職務を行なう。
- 一、会長は本会を統轄し、且つこれを代表する。
- 一、副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務

を代行する。

一、評議委員長は、評議委員会を統轄し、且つこれを代表する。

第十六条 本会総会議長は書心会長がこれにあたる。

一、副評議委員長は、評議委員長を補佐し、評議委員長に事故ある時はその職務を代行する。

第七章 評議委員会

第十七条 本会の審議および決議機関として本委員会を置く。

一、評議委員は書心会の本会の運営、重要事項の審議および決議にあたる。

第十八条 評議委員会は評議委員、事務局長、および事務局次長をもって構成する。

一、事務局長は、事務局を統轄し、且つこれを代表する。

第十九条 評議委員は次の各号の場合、評議委員長がこれを召集する。

一、事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故ある時は、その職務を代行する。

一、会長が必要と認めた場合
一、評議委員長が必要と認めた場合

一、事務局委員は、本会の企画・立案にあたる。

第二十条 評議委員会の成立、並びに議決は書心会総会に準ずる。

一、会計監査委員は、本会の会計監査にあたる。

第二十一条 評議委員会議長は評議委員長がこれにあたる。

第十条 役員任期は二年間とし、定例総会に於いて選考するものとする。

第八章 事務局・会計

第六章 総会

第十一条 総会は本会の最高決議機関である。

第十二条 書心会総会は会員をもって構成する。

第二十二條 本会の執行機関として、本事務局を置く。

第十三条 本会総会は次の各号の場合、書心会会長がこれを召集する。

第二十三條 事務局内に事務室を置き、書道部役員より、事務室長を選任する。

一、定例総会（年一回）

第二十四條 本会の会計年度は毎年一月一日より始まり、十二月三十一日に終わる。

一、会長が特に必要と認めた場合

第二十五條 本会会費は総会に於いて決定する。

一、評議委員会が必要と認めた場合

第二十六條 会計は監査を受け、総会においてその年度の会計報告を行う。

第十四条 本会総会は出席会員をもって成立する。

第二十七條 会員は本会運営費用として毎年三月三十一日までに会費納入の義務を負う。

第十五条 本会決議は出席会員の過半数を必要とし、同数の場合は議

第九章 入会及び退会

第二十八条 入会については、第十七条に該当するもので且つ、本人の申し出によるものとする。

第二十九条 本会をやむをえぬ事情の為、退会する場合は書面をもってすみやかに申し出る事。

第三十条 本会を退会し、再入会の申し出があった場合、評議委員会の承認を得た者について入会を認める事がある。

第三十一条 本会で本会の名誉を毀損し、また会員としての体面を汚し、もしくは不都合な行爲があつた場合、総会の決議により退会を命ず。

第三十二条 二年間会費を滞納したものに於いては退会を命ず。

第三十三条 本会規約の改正は評議委員会の審議を経て総会出席者の三分の二以上の賛成を得なければならない。

第十一章 附 則

第三十四条 本規約は、昭和五十九年一月十六日から施行する。

福岡書芸院

月刊書道研究誌

「談」發行

古典を中心とした
専門的指導

福岡書道専門学院

会長

前崎南嶺

〒816

福岡県大野城市白木原23-2

電話 092 573 5753

寺 光 円
園 稚 幼 寺 光 円

大牟田市唐船1431 (TEL) 0944-52-5774



迎 歡 ぱ ン コ
永 歳 割 烹 煮

福岡市中央区天神1丁目13-13 勧銀横
TEL (751)-1004
(福大卒業生の店)

花 店 正 花 正 花 正 花

はなふじ正花店

福岡市東区名島商店街 TEL (092) 672-1187

!! 当店へは御用命の御贈答品・暮歳御



ヨーコマート
マルウ

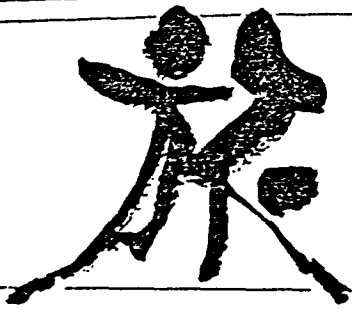
夜10時迄配達致します

☎ 863-8014

3 1 2 3 - 3 江 片 区 南 城

※ペットフード(犬・猫)も取揃えております。

今年はどのコースでおでかけですか…



プラン

職場旅行・団体旅行・招待旅行・交通公社特選 コース



日本交通公社 ☎(0944)53-1524

大牟田支店

大牟田市新栄町20-6 (三久物産ビル一階)

アパート・間貸・下宿

高田住宅

〒814-01 福岡市城南区片江5丁目1番31号（東七隈信号角）

トータルインテリアのプロフェッショナル GSグループ
GSクロス GSフロアカバーリング GSガーデン

株式
会社

GSタカハシ

福岡市中央区天神2-10-10

TEL 福岡 741-3231
781-7170

お食事処

よかろうもん

〒810 福岡市中央区渡辺通り5丁目
秀巧社ビル裏
TEL (092)711-7900

技術とまごころを最高の
技術に託す。

ヘアースalon

きただ

福岡市城南区片江3-17-25
片江小学校横 (☎) 862-0077

筆・墨・硯・紙・書籍

(株) 平助筆復古堂

福岡市中央区春吉3丁目3街区9号
TEL(761)5122・(761)0884

おふくろの味 お持ち帰り寿し・弁当・丼物

花すし弁当

サウンド音の木ななめ前 TEL 864-5348

合宿用寝具類の専門店



貸とん

つるや

TEL 521-6565

福岡市中央区薬院3丁目10-10

西鉄旅行株式会社

NISHITETU TRAVEL CO. LTD

小倉営業所

〒802 北九州市小倉北区魚町2-1-1 (魚町電停前)

西鉄魚町ビル2階

TEL 093-521-1951 (代表)

FAX 093-541-2535

(株) 日立物流

福岡営業所

〒811-02 福岡市東区和白丘2-1-2

TEL (092) 606-2531 (代)

FAX (092) 607-4438

(株) 日動火災海上保険

代理店

福岡市博多区駅前4-25-4

高野 良一

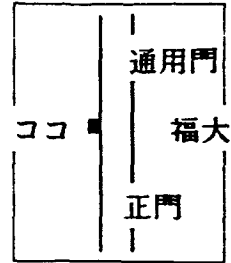
TEL (092) 441-0640

Cut&Perma

A	B	C
---	---	---

NOKE SHOP / ☎092-863-9961
BEFU SHOP / ☎092-822-0575
FUKUDAI SHOP / ☎092-863-5594

焼き鳥 40円より準備!
 カラオケレーザーディスク完備!!
 金曜日女性サービスデー!!
 純和風やきとり



やきとり一合

TEL 871-7800

DYNAPAC

世界の道路で日本の道路で。50年以上の実績が生きてます。
 ダイナパック建機(株)福岡営業所

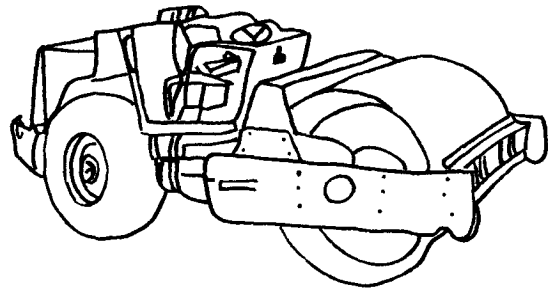
所長 内野俊彦

(第十六代副幹事)

〒815 福岡市南区大橋1-2-3

(大橋センタービル)

TEL 092-521-5603(代)



福大生の いこいの広場

ボウリング
 ゴルフセンター
 バッティングセンター

ビリヤード
 ゲームコーナー

レストラン風月(七隈店)
 音楽喫茶(もみの木)
 雪印スノーピア
 1時間仕上げDPE(七隈店)
 コピーコーナー
 各種文化サークル

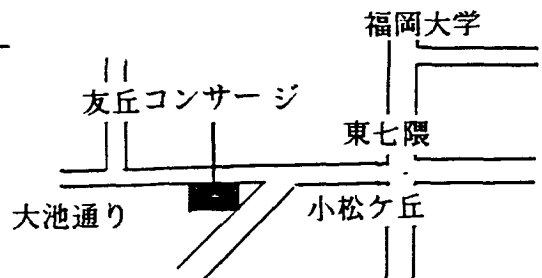
七隈ファミリープラザ

〒814-01 福岡市城南区七隈8丁目4番8号 ☎092(861)5555

不動産のトータルプランナー

レンタルライフの

友丘コンサージ



〒814-01 福岡市城南区神松寺3-10-24

TEL863-0514

株式会社

旭工務店

〒福岡市博多区博多駅前南5-10-13

TEL (代表) 092-431-4131

FAX 092-451-3294

福岡本店 092-566-1911
北九州営業所 093-661-5541
東営業所 092-622-2190

合宿にクラブ活動に電話一本で

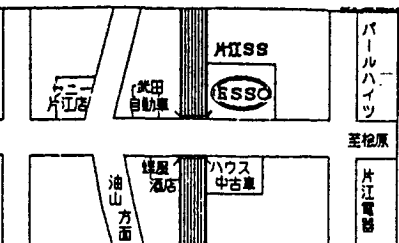
寝装リースのレンタル 丸屋

コーヒーハウス

北 欧

福大バス停前 TEL 871-6232

朝日石油 (株) 片江SS



福岡市城南区片江4-21-5

☎ 092-801-0808

掛軸、額縁、屏風表装一式

萬年堂

〒814 福岡市城南区鳥飼4丁目1-39

TEL (092) 821-7767

書道用具専門店

雲峰堂

〒812 福岡市博多区下川端町6-113

電話 (代表) 281-1550

Creative
salon
for you



カット&パーマ

Ken & Merry

南区野間

☎ 552-5365